**令和２年度に係る業務の実績に関する評価結果**
**国立大学法人小樽商科大学**

## １ 全体評価

小樽商科大学は、建学以来の自由な学風と実学重視の精神を継承・発展させ、質の高い研究を維持し、社会の各分野において指導的役割を果たすことのできる品格ある人材を育成することを目指している。第３期中期目標期間においては、グローバル時代の地域マネジメント拠点としての社会的役割を果たすため、「アクティブラーニングの深化・充実」「新たな教育課程の構築」「全学的な地域課題研究の推進」「文理融合型ビジネス開発プラットフォームの構築」「産学官連携・他大学連携による地域人材育成」を推進し、北海道経済の発展に寄与する「グローカル人材」を育成することを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、総合型選抜（AO入試）による「グローカル総合入試」を実施するとともに、地域に根ざした共同研究やリカレント教育プログラムを実施するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

**（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）**

第３期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、令和２年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

○　帯広畜産大学・北見工業大学との三大学経営統合における連携教育の取組として、異分野の知識・理論を学び、社会の変化に対応する能力や課題解決能力の涵養に資することを目的とした「文理融合プログラム科目」の試行実施として、令和２年度ではそれぞれの大学の教養教育科目、専門の入門科目等から４科目を相互提供しており、三大学合計で300名以上の学生が履修している。（ユニット「グローカル人材育成のため、海外及び国内の教育研究資源を活用した新たな教育課程の構築」に関する取組）

○　教員等が学術コンサルタントとして教育研究及び専門知識に基づき指導及び助言を行うことにより、企業等の業務活動等を支援する「学術コンサルティング制度」を平成30年度に創設しており、令和２年度では商業ビル運営会社や市町村から新たに２件の学術コンサルティングを受託し、研究成果の還元と成果発信に取り組んでいる。（ユニット「北海道経済の活性化を目的とした産学官連携及び大学連携に向けたプラットフォームの形成」に関する取組）

## 2 項目別評価

＜評価結果の概況＞

| | 特　筆 | 一定の注目事項 | 順　調 | おおむね順調 | 遅れ | 重大な改善事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| （１）業務運営の改善及び効率化 | | | ○ | | | |
| （２）財務内容の改善 | | | ○ | | | |
| （３）自己点検・評価及び情報提供 | | | ○ | | | |
| （４）その他業務運営 | | | ○ | | | |

### Ⅰ．業務運営・財務内容等の状況

#### （１）業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善　②教育研究組織の見直し　③事務等の効率化・合理化

**【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

（理由）　年度計画の記載12事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

#### （２）財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加　②経費の抑制　③資産の運用管理の改善

**【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

（理由）　年度計画の記載３事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

#### （３）自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実　②情報公開や情報発信等の推進

**【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

（理由）　年度計画の記載２事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## （４）その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等　②安全管理　③法令遵守

**【評定】中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

（理由）　年度計画の記載14事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## Ⅱ．教育研究等の質の向上の状況

令和２年度の実績のうち、下記の事項について**注目**される。

**○ 新たなリカレント教育プログラムの開始**

地域医療・介護を含むヘルスケア領域において、医師や看護師、介護士等に限らず、ヘルスケア関連従事者等、様々なプレーヤー間の連携をマネジメントし、イノベーション創出を牽引する人材を輩出することを目的として、MBA教育のノウハウを生かした履修証明プログラム「ヘルスケア×マネジメントコース」を令和２年度より開設しており、それぞれの分野の専門家に加え、帯広畜産大学、北見工業大学の協力により、分野横断型のプログラム構成で実施している。